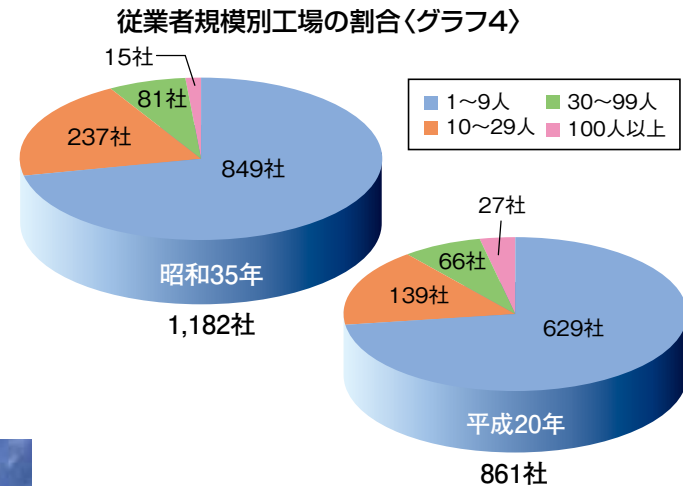
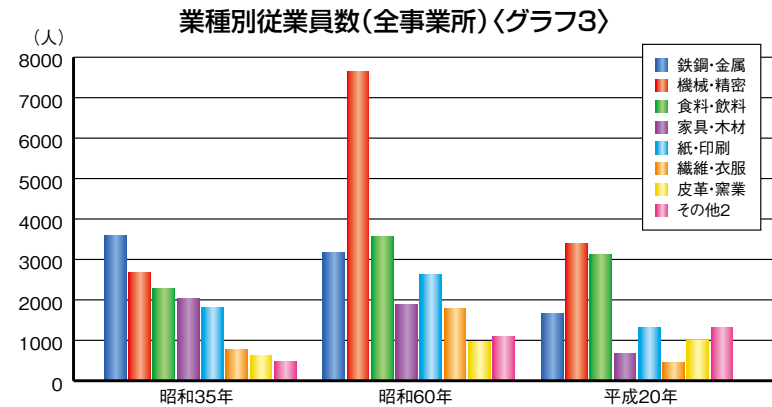
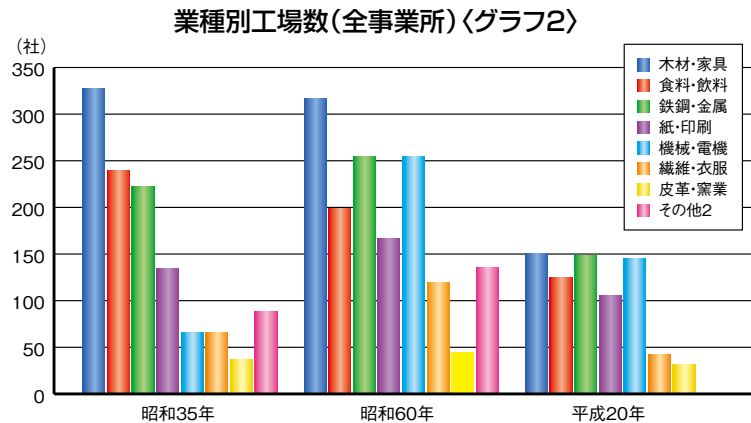
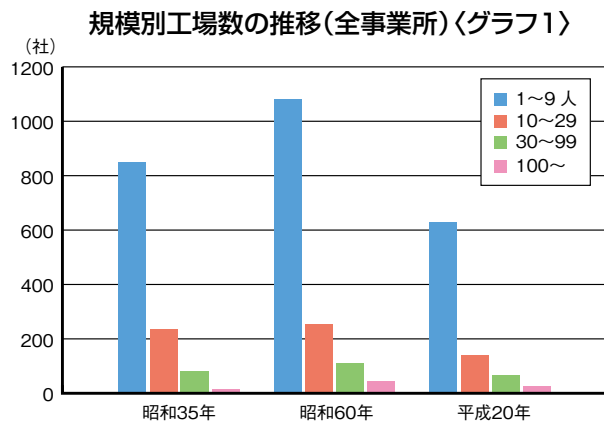




東京スカイツリーで使われている滑車



茶釜を製作する高橋敬典氏(故人)

2 ものづくりの技と心に生きる

職人町から工業団地へ

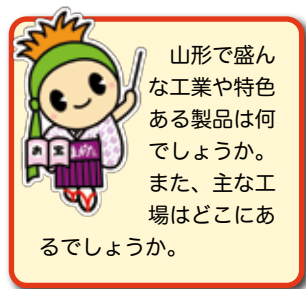
江戸期の城下町には、^{ろうそく}「蠟燭町」、^{ぬりし}銀町、塗師町、^{おけ}桶町、^{ひもの}櫓物町、^{かじ}鍛冶町、銅町」などの職人町があり、近年までそれぞれの職人さんたちが、私たちの生活を支えてきました。

昭和期には、農機具やミシン、鉄瓶や日用品の鋳物製品、包丁やはさみ・のこぎりなどの打刃物製品、婦人服のニット製品、市民の生活に欠かせない食料品が活発に作られ、ものづくりの技と心を築いてきました。

しかし、長年続いてきた職人さんの跡継ぎが少なく、これまでの工場と町名が消えていきました。現在、銅町だけに残っています。近年では、旧市内の工場は郊外にできた工業団地に移転し、新しい業種の工場も進出しました。

業種は多様

山形の工場数の推移をみると、昭和35年には1,181、昭和60年1,494、平成20年には749と変化し、近年は減少しています(グラフ1)。業種別工場数では、平成20年には木材・家具、鉄鋼・金属、機械・電機がほぼ同等



です(グラフ2)。業種別従業者数をみると、全体の12,937人のうち機械・精密と食料・飲料工場で働く人が多いことがわかります(グラフ3)。

各工場で、ものづくりの技術が進化し、品質の優れた製品が作られています。これらの工場の中には、新製品の開発を進め全国で注目されている工場も多く、山形セクションとして、県外や海外に紹介されています。

大多数は少人数

従業者規模別工場の割合をみると、従業員100人以上の工場は平成20年にはわずか27社だけで、あまり変化はありません(グラフ4)。

9人以下の工場は、629社で全体の73.1%を占めており、山形市は大工場より小工場が多いです。県内の酒田市や米沢市と比べて、大工場が少なく高い煙突がない町です。

三二知識 24

山形鋳物一人間国宝とスカイツリーの滑車

山形鋳物は、こまやかな肌の薄手吹きや紋様押しなどの伝統的な技法による高品質と優れたデザインで、国の伝統工芸品に指定(昭和50)されています。

山正鋳造の高橋敬典氏(大正9~平成21)は、重要無形文化財・人間国宝「茶の湯釜」に認定されました(平成8)。若い時に家業を引き継ぎ、「鉄というものは柔らかいものなんだ。硬い鉄で柔らかいものを作りたい」との理念をもって製品作りに励み、山形鋳物のよさを国内外に発信してきたのです。

山形鋳物は今日も伝統的な技法に新たな技・素材を加え、世界から高い評価を受けています。

最近では「東京スカイツリー」(平成24開業)のエレベーター滑車に、渡辺鋳造所の鋳鉄が採用されました。地上から第一展望台(350m)へ超高速で昇降する大型滑車です。安全・安全の信頼性が認められたのです。

また山形セクションのひとつとして、菊地保寿堂の和鉄ポットが海外に輸出されるなど、地場産業の山形鋳物は、高い技術と品質で各界から注目されています。山形の誇りです。



伝統工芸品

「山形鑄物」と「山形仏壇」は、国の伝統的工芸品として指定（昭和50）されています。山形鑄物は、鉄瓶や茶釜、壺、花器などの伝統工芸品の他、日用品、近代彫刻、自動車関連や機械の部品等を製造し、伝統の技と新しい技術を創りだしています。工場は、銅町と西部工業団地内の鑄物町にあります。

山形仏壇は、精密な技法で優美さがあり品質が堅牢です。作業は、木地・宮殿・彫刻・金具・塗り・箔押し・蒔絵などの7部門の分業でおこなわれており、各職人さんの堅い絆でつながっています。

他にも平清水焼の陶器、宮町の打刃物、こけし、指物、張子などがあり、それらを展示する山形市産業歴史資料館が鑄物町にあります。また、毎年優秀な職人さんの表彰と伝統的工芸品まつりが開かれ、伝統が継承されています。

全国へ出荷

昭和期になって食品や家具・木工製品、自動車部品、機械や電機の半導体・電子製品などの新しい工場が生まれ、郊外に新しい工業団地が造成されています。

特に近年は、豆やラスク、醤油などの食料品、自動車関連の機械部品・皮革製品、電子部品などは評判が高く、中央の大企業との取引もあり全国各地へ出荷されています。山形の工業は、大規模工場は多くはありませんが、高品質で心が通じ合う堅実なものづくりの技術が推進されています。

工業団地のあるところ

アルカディアソフトパーク



産業の頭脳部分である先端技術型産業の企業が多く立地しています。研究・支援機関も多くあります。

西部工業団地



工芸鑄物や機械鑄物などの素材産業の立地から始まり、鉄工、建設などの企業も立地しました。

立谷川工業団地



昭和30年代に造成を開始した歴史ある団地です。機械・木工・木材・印刷など様々な業種が立地しています。

蔵王産業団地



東北中央自動車道インターや国道13号線に直結し、交通の利便性の高い団地です。



↑ 平清水焼



↑ 陶芸の里・平清水